



2016研究開発パイプライン

野菜

青枯れ病抵抗性トマト

この製品は、現在市販されている製品と比較して、立ち枯れ病の影響下でも非常に高い収量を得られる可能性を持ったトマトを生産者に提供します。

商品化段階





べと病抵抗性レタス

全てのべと病レースに安定した抵抗性を具えるこの新品種群は、複数の抵抗性遺伝子を集積する最新の育種技術で育成されました。これにより市場に出荷できる収量を増やし、病害防除のための殺菌剤散布の回数を減らすことができると期待されます。

第2段階

ジェミニウイルス耐病性トマト

複数の新しい耐病性遺伝子を使ったこのプロジェクトは、ジェミニウイルスに耐病性のあるトマトを作るための高度な植物交配技術で開発されており、この世界的な病原体に対して業界をリードする防除レベルを実現し、病気の影響下でも収量と果実品質を向上させます。

第2段階





Brilliant Whiteカリフラワー

Brilliant White カリフラワーは、日光による黄化変色の影響を極く僅かに押さえ、花蕾を外葉で覆ったり外葉を結束して包んだりする必要をなくそうとするものです。収穫効率を向上させる可能性も持っています。

第4段階

べと病抵抗性キュウリ

DM Defense™ハイブリッドキュウリは、従来の感染しやすい品種に比較してべと病の被害が大きく低減します。生産者にとってより柔軟な散布スケジュールが可能になり、本来の収量も保たれます。

商品化段階

